



# 扇 寿

能代市立第五小学校

学校報 NO. 8  
令和7年 8月 25日  
TEL. 58-2178 校長室

## 回 覧

自治会の皆様  
お願いします

〈校 訓〉 夢にいどみ 人と和す

〈教育目標〉 進んで学び 心豊かで すこやかな子どもの育成

**さあ2学期スタート。自分磨きの新たな旅がスタートします。  
人との関わりを大切にしながら成長する五小っ子。夏休みから切り替えて！  
先生達も君たちに負けないうくらい「キラ人になろう」とがんばりましたよ！**

2学期も暑さ、熊やイノシシの出没、集中豪雨に気を付けながら成長していきましょう。

夏休み中、プール開放を実施しました。天候が悪く中止した日もありましたが、たくさんの児童が利用していました。監視員さん3名がローテーションで勤務してくれるおかげで実施できています。子どもたちには「ルールを守り安全に。監視員さんの言うことをしっかり守ること」を伝えましたが飛び込んだり、鐘が鳴ってもすぐにあがらないなど注意を受けたようです。心当たりのある児童は同じ失敗をしないように考えてほしいと思います。私も何度かプールに入りましたが、授業でできるようになったことに磨きがかかり、上達していることに驚きました。「校長先生、見て！できるようになったよ」という言葉が多くうれしい気持ちになりました。努力してできたことは自信となり、さらなる成長につながる。勉強と同じですね。8月中で水泳授業は終わります。楽しんでほしいと思っています。



夏休み前に「職員も子どもたちに負けないうくらいキラ人になろう。夏休み楽しい目標をもって実践しよう」と呼びかけました。一人一人が楽しい目標に挑戦しました。私は二つ実践しました。一つは還暦の同級会開催です。崇徳小学校の同級生に連絡をしました。亡くなった方、音信不通の方、残念ながら都合が付かない方、様々ですが男女10名集まりました。さらに、33歳、42歳の厄払いの時も参加してくださった学級担任原田ヒロ先生が千葉から駆けつけてくれました。60歳の還暦の会が小学校の学級担任と実施できて幸せです。



「私は皆さんから元気をもらって、もう3年長生きできそう。80歳になれば人生の見える景色が変わるよ。健康でがんばって」と激励していただきました。一人一人が思い出を語り、感謝を伝えあつという間の時間が過ぎました。「先生のおかげで学校が好きになった。今あるのは先生のおかげ」と別れ際に「先生、ハグしてもらっていい？」と抱きつく同級生を見て涙が出ました。「こんな思いを五小の先生方、五小っ子にもしてほしいな」と思いました。

二つ目は、北羽新報でも紹介していただいた桧山盆踊りです。「俺、引退、おめ引き継いでがんばれ！」と父に言われて30年近くになります。今年は崇徳館のホールをお借りして実施してみました。毎年踊って盛り上げてくれるおばさま方、「踊れねども応援に来た」と言ってくれるおばあちゃん、今年はOBOGとその家族がたくさん駆けつけてくれたので規模は縮小しましたが盛り上がりました。東能代地区から中学生も参加してくれました。バーベキュー反省会でお礼する予定です。子どもたちや帰省した若者たちががんばる姿は地域を元気にしてくれます。実行委員のおじさん達と「この形もいいな。崇徳小学校で実施するのはどうだろう。移動手段を手厚くしたいな」など新たな案もでて持続可能な盆踊りをこれからも考えていと思いました。

全く個人的な内容になってしまいましたが、教育と地域は密接に関わっています。私は今でも崇徳小学校で学んだことが記憶に残っています。原田先生と道徳の授業で「ビルマの豎琴」について学習し、図書室で白黒の映画を見せてもらったこと。「はにゅうの宿」をみんなで覚えて歌ったこと。冬の桧山城跡に「一生に一回の経験だ。みんなで登ろう」と男子が雪を踏み固め、女子が原田先生の背中を押し、城跡から冬景色をみんなで見たこと。



五小っ子にも心に残る思い出を作りたいと思って関わることから取り組んでいます。「校長先生にほめられた。怒られた。プールで一緒に泳いだ。投げてもらった。一緒に遊んだ。」「モリアオガエルの学習をした。鶴形そばを作った。桧山納豆を作った。小友沼で学習した。海で宿泊体験をした。田沢湖でスキー体験をした。函館に修学旅行に行った。クラブで楽しんだ」五小の学びはきっと心に残るはずです。